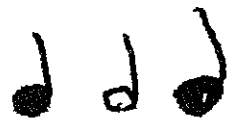


雪

あ
い
う
え
お

あ
い
う
え
お



あ
い
う
え
お

あ
い
う
え
お

あ
い
う
え
お

あ
い
う
え
お

あ
い
う
え
お

あ
い
う
え
お

あ
い
う
え
お

あ
い
う
え
お

木の实幼稚園

令和4年12月10日（土）

場所：松原市文化会館

午前の部：9時30分～12時（Aグループ）

午後の部：13時30分～16時（Bグループ）

♪ 音楽会プログラム ♪

☆午前の部（Aグループ） 9時30分～12時
☆午後の部（Bグループ） 13時30分～16時

1. ご挨拶

2. 「あおいそらにえをかこう」 ～斉唱

年中組

3. 「みつけたもじをつなげたよ」 ～言葉あそび
「たきび」 ～斉唱
「はじめてのきもち」 ～斉唱

年長組

4. 「クレヨンくんとかくれんぼ」 ～リトミック表現
「どんな色がすき」 ～斉唱

年少組

5. 「雨の日のおさんぽ」 ～表現遊び
「にじのむこうに」 ～バチ演奏

年中組

6、「まほうのカバン」
「ふしぎなポケット」 ～楽器遊び

年少組

7、「歌えバンバン」 ～器楽合奏

年長組

8、「ゆかいなまきば」 ～ベルとピアノによる合奏

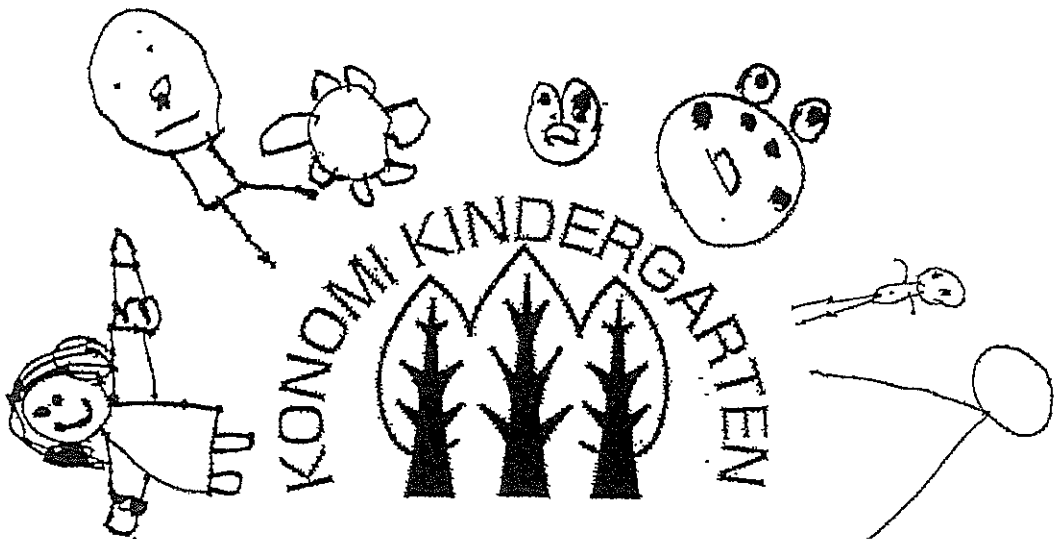
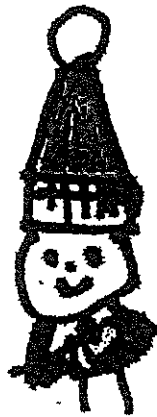
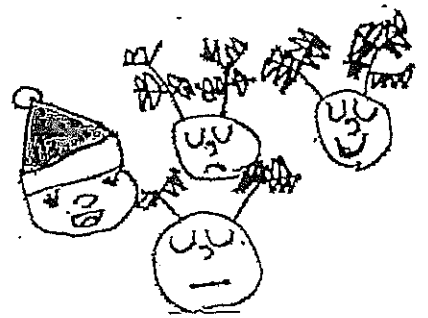
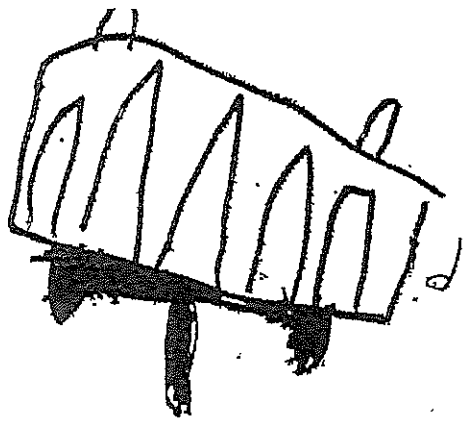
年中組

9、「天国と地獄」 ～鼓隊による演奏

年長組

※PG.9 終了後、年長組園児はステージに残り、閉会のプログラムを行います。

※閉会のプログラム終了後、年少組、年中組、年長組の順番に解散予定です。



令和四年度 木の実幼稚園 音楽会

音楽会の各学年、各プログラムの内容やエピソードをご紹介します。

先日配布致しました「舞台立ち位置図」では、おおよその子ども達の立ち位置や各自の担当する楽器などをご案内しましたが、プログラムによっては、どうしても一部保護者の皆様からお子様の表情が見えにくい事もあるかと思いますが、ご理解の程宜しくお願い致します。

ご理解、ご協力いただきたいこと

- 欠席者やその日子どもの様子を見て、子ども達が安心して参加出来るよう、当日に急遽立ち位置を変更する場合があります。
- 担任が舞台上で指揮をするプログラムもあり、場合によっては保護者からお子様が見えにくい場合もあります。
- ウイルス感染拡大防止の観点から、観覧出来るのは1家族につき保護者2名と付添いのお子様は小学生までの兄弟姉妹のみとします。
- 入場の際は受付にて「入場許可証 兼 体調確認書」の提出が必要です。お忘れの場合は、その場で検温し、ご記入頂きます。
- 座席は完全指定席となります。1家族につき2席。付添いの兄弟姉妹の指定席は確保しておりません。配布済みの座席表でご確認の上、適時ご利用下さい。
- その他、事前に配布した諸注意を今一度ご確認ください。

「あおいそらにえをかこう」



1 学期の頃から歌うことが大好きな子ども達。お部屋だけでなくお外遊びに出かける時にもいつも素敵な歌声が響きます。そんな大好きな歌のひとつ『あおいそらにえをかこう』をみんなで心を込めて歌います。

歌詞の意味を考えてみたり、「皆なら空にどんな絵を描きたい?」「僕らの島ってどんな島だろう?」と、自分達なりの歌のイメージも各クラスで膨らましてきました。歌詞の一つ、「明日は」と「エイヤー」はクラスごとに掛け合いをして歌う事に挑戦しています。『歌を届けたい』『聞いてほしい』そんな気持ちも芽生え始めた年中さんの歌声をお聴きください。

斉唱の前の言葉遊びでは、音を発することが面白い3文字をクラスで出し合いました。組み合わせて見ると「なにこれ、へんてこりん。」そしてその言葉に動きもつけてみると・・・「なにそれ～～!？」となんだかいつもの言葉も面白く感じます。各クラスで異なる言葉と、クスッと笑える可愛らしい動きも是非ご覧ください。





各クラスで遊んだ3文字の言葉を紹介します。

Aグループ

1回目

星組：「ががが」

雪組：「ぽぴぽ」

月組：「ぽぱく」

2回目

星組：「ぺだど」

雪組：「ばがぼ」

月組：「べばぼ」

Bグループ

1回目

鳩組：「ぷぷぽ」

空組：「おぱひ」

花組：「ざじず」

2回目

鳩組：「ぴちよぱ」

空組：「ばびぶ」

花組：「ぱびぷ」

「みつけたもじをつなげたよ」 「たきび」「はじめてのきもち」

言葉遊び

年長になって色々な文字に興味を持ち始めた子ども達。そこで今回は、お部屋にあるひらがな・カタカナ・英語や漢字の文字を探し、見つけた文字を組み合わせで遊びました。文字を繋げてみると不思議で面白い新しい言葉ができました。リズムに合わせて読んでみると、「なにこの言葉～！」等、どこのクラスも大盛り上がり！どんな言葉が出来たのでしょうか。お楽しみに！

Aグループ

みんなが見つけて繋げた言葉を紹介します。

♪ひらがな カタカナ えいごのきになることば
あつめて つなげて あそんだよ～♪

じっとやまぴー れっぷぴ じっとやまぴー くっぴど
いろはなせきなーかけ ぺくすげばぎょーも

Bグループ

みんなが見つけて繋げた言葉を紹介します。

♪ひらがな カタカナ えいごのきになることば
あつめて つなげて あそんだよ～♪

からだだねん かまいはり ろくかたちりせあ
なきおんおとものーへ WO そたにてここりや かばなまうまつーも

オリジナルソング「はじめてのきもち」

今回のテーマは「はじめてのきもち」です。年長になると初めてのことが沢山増えました。運動会のリレーや文字ノート、デイキャンプ等初めてやる時の気持ちや、その時感じた気持ちを各クラス会話の時間で話し合いました。

「初めて出来たらルンルン気分になる!」「初めてで不安になるとくっつきたくなるよね。」など、子ども達ならではの気持ちを教えてくれました。初めての事に対する気持ちの言葉を5クラス分紡ぎ合わせると、世界に一つだけの歌が完成し、子ども達にとって大好きな歌になりました。

幼稚園生活最後の音楽会、オリジナルソングをみんなで心を込めて歌います。子ども達の『はじめてのきもち』に対する想いが詰まった歌詞にも耳を傾けながらお聴き下さいね♪



○保護者の皆様へ○

今年の年長組は「年長組になって初めて経験すること」をテーマに、色々な気づきや感じた事を友だちや先生と話し合いました。そして、その場で子ども達から出た言葉を先生達が紡ぎ、オリジナルの詩を作り上げ、さらに、音楽講師の山地先生が、その詩にメロディーを付けてくださったことで、年長組オリジナルソングが出来上がりました。そのオリジナルソングの歌詞を紹介いたしますので、当日子ども達が歌う姿を心待ちにして頂ければ幸いです。

「はじめてのきもち」

作詞：令和四年度 年長児

作曲：山地寛和

①

ドキドキ リレーは勝つか負けるか分からない
ワクワク 初めていくとこ 何があるのかな
ルンルン ルンルン初めてやってみたら
好き好き 好きなこと見つかるかもしれないね

なんでこんな気持ちになるんやろう

だってみんな心をもってるから

ドキドキしたけど楽しかった 頑張った
嫌な時もあったけど出来るようになったのは
勇気を出してやったから やって見たから

②

緊張 初めて会う人どんな人かな
心配 もうすぐ小学校 勉強できるかな
イヤイヤ イヤイヤ おいしくなさそうなもの
初めて 初めて 食べたら好きになるかもね

なんでこんな気持ちになるんやろう

だってみんな心をもってるから

ドキドキしたけど楽しかった 頑張った
嫌な時もあったけど出来るようになったのは
勇気を出してやったから やって見たから

やってみたら 知らないこと

ちょっとわかる

やってみたら もっと遊べて

嬉しい楽しい

楽しい気持ちになって

手を繋いでスキップしちゃう

なんでこんな気持ちになるんやろう

だってみんな心をもってるから

ドキドキしたけど楽しかった 頑張った
嫌な時もあったけど出来るようになったのは
勇気を出してやったから やって見たから

「クレヨンくんとかくれんぼ」 「どんな色がすき」



年少組のお楽しみ会で出会って、大好きになったクレヨンくん。今日は、かくれんぼしてしまったクレヨンくんを探しに、子ども達は出かけます。ピアノの音に合わせて歩いたり、走ったり、身体を動かす中でも、音が止まるとピタッと動きを止め、また聞こえると動き出す、という表現は、子ども達が、「きゃー！」と、思わず声を出してしまうほど、大好きな遊びです。

また、色々な所にかくれんぼしているクレヨンくんを探す中で、子ども達は様々なものにも出会います。ピアノの音色に合わせて、「ド・レ・ミ…♪」と歌いながら階段を登っていく、『ドレミの階段』では、子ども達のやる気満々な表情にも注目です(^)イメージを広げながら、音の高低や大小を全身で表現する姿、先生や友達と一緒にクレヨンくんの世界を楽しむ子ども達の姿を、是非ご覧くださいね。

最後はみんなの大好きなクレヨンくんが出てくる、『どんないろが好き』を、元気いっぱいに歌います。初めての大きなステージに、わくわくドキドキの子ども達。心を合わせて歌いますので、温かい拍手を送ってあげて下さいね♪



「雨の日のおさんぽ」 「にじのむこうに」



年中からバチ遊びが始まり、クロちゃん【♪】しっぽちゃん【♪】など、様々な音符があることを知りました。「クロちゃん 3 人おったらタンタンタンやんな！」と、音符のリズムも遊びの中で覚えました。今では音符を見るだけで簡単なリズムを自分達で演奏することが出来ます。今年のテーマは『雨のおさんぽ』です。ピアノの音を聞いて音の大小や、雨の音をバチで表現します。

バチ演奏は、1 学期の頃から毎日歌っても飽きないほど大好きな曲、「にじのむこうに」に合わせて演奏します。歌詞やリズムを完璧に覚えている皆は替え歌になってもすぐに覚え、コーナー活動の時などに、「あ・あ・あめが…」と口ずさむ姿もありました。床でバチ打ちをしたり、バチで虹を描いたりと様々な方法で元気いっぱい、堂々と演奏する素敵な姿をぜひご覧ください。

にじのむこうに ～替え歌～

① あ あ あめが ぷ ぷ ぷるよ
ながぐつはいて おさんぽきたよ
じゃーんぷ ぴょんぴょんぴょん ×2
おおきな にじを さがしに いこう
こっちに あるよ そっちに いくね
あるいて おいで いそいで いくね
(ようい) にじだ (ようい) おーい
(ようい) にじだ (ようい) おーい

② あ あ あめが ぷ ぷ ぷるよ
ながぐつはいて おさんぽ きたよ
〇〇組ヤー! 〇〇組ヤー! 〇〇組ヤー!
き き きれいだね まま またみよう
おおきな にじを さがしに いこう
にじの むこうに

〇〇組の箇所は
クラスごとに分かれて
歌います♪

「まほうのカバン」 「ふしぎなポケット」



1 学期から楽器でお返事やお散歩をしたりして、沢山遊んできました。言葉にリズムを当てはめた、先生との真似っこ遊びが大好きな子ども達。最初は「りんご」等、簡単な言葉に当てはめていましたが、「マスカット」や、「ブルーベリー」等、難しいリズムの言葉でも真似っこ名人になってきました♪

楽器遊びでは、先生が持ってきた不思議な鞆に、クレヨンくんを入れると…なんと果物に大変身！その変身した果物の名前を呼びながら楽器を鳴らして遊びます。ピアノの音を聞きながら、鳴らす音の大きさに変化をつけたり、ただ鳴らすだけでなく、休符や持ち方にも意識しながら楽しむ姿が見られるようになってきました。


そして最後には、ふしぎなポケットの曲に言葉を当てはめて、リズム打ちをして遊びます。「り り りんご」等、口ずさみながら、先生やお友達と、色々なリズムや音を楽しむ姿にも是非、ご注目下さい。

曲（リズム）に言葉を当てて演奏します

「ふしぎなポケット」

り り りんご	れ れ れもん	ちいさくなるよ	おおきくなるよ
ふしぎなカバン	ふしぎなカバン		
カ カ カスタ	す す すずさん	タ タ タンバ	ト ト トライ
みんなでならそ	みんなでならそ		


「歌えバンバン」



今年の合奏曲は「歌えバンバン」です。この曲は1学期から子ども達が歌っていた大好きな歌です。今年の音楽会では、ピアノでもこの曲に挑戦してみます。また、自分専用の楽譜づくりにも挑戦しました。完成させると「早く弾いてみたい!」という声が聞こえてくるほど、子ども達はやる気満々でした。

もともと歌ったことのある曲だったので、覚えるのも早く、「おーやーすーみーミ・ミ・ミ〜♪」と口ずさむ姿も見られました。「始めの方はいけるんやけど最後が難しい〜。」という声が聞こえてくるほど苦手に感じる箇所もあったようでしたが、「歌えたら弾けるようになるよ。」と声をかけあったり、「こうやるんやで。」と子ども同士で教えあう姿も見られたりしました。

今回はピアノだけでなく、大太鼓、小太鼓、ハイハット、コンガ、シンバルの楽器も一緒に演奏します。みんなで音を合わせる難しさや、面白さを感じながら演奏を楽しむ姿にも注目してお聴きください。子ども達みんなで息を合わせて奏でる演奏は、聴くと元気になりますよ。是非、当日の音楽をお楽しみ下さいね♪



「ゆかいなまきば」




合奏では、誰もが1度は聞いたことがある曲『ゆかいなまきば』を演奏します。

「♪いちろうさんのまきばで～」から始まる軽やかなリズムがとても印象的なこの曲、子ども達にも馴染みがあったようで、初めて聞いた時から「この歌知ってる！」と楽しそうに歌う姿がありました。そんな大好きな曲をベルとピアノで演奏します。

ピアノは、年中さんになり、少しずつ経験を重ね、段々と自信を持って弾くことが出来るようになってきました。音を鳴らすだけではなく、ドは1番の指、レは2番の指…と、指使いにまで意識をもって取り組んでいます。中には、「ここがレやで。」「ここは3番の指で弾くんやで。」と、お友達同士で教え合う姿まであり、子ども達にとって、ピアノは身近で楽しい遊びの1つとなっています。

そんなピアノと合わせて奏でるのがベル。始めは、色によって音が違うことに驚いていた子ども達ですが、振り方の違いで様々な鳴らし方が出来ることに気付き、お友達と一緒に演奏する楽しさを感じるようになってきました。そんな子ども達が、お友達と心を合わせ、『ゆかいなまきば』を演奏します。周りの音にも耳を傾けながら、お友達と一緒に音を奏でる子ども達の姿にご注目下さい。当日は、ベルとピアノの綺麗なハーモニーを楽しんでもらえれば、と思います。

「天国と地獄」



今年の鼓隊曲は「天国と地獄」です。タイトルを聞いたときは「何それ？」と首を傾げる姿もありましたが、メロディーが流れてくると「知ってるー！」と大興奮で教えてくれました。「天国」についても「地獄」に対しても抱くイメージは様々でしたが、曲に対するイメージは、皆一様に「元気で楽しそう。」だったようです。

始めは、指揮の先生の動きに注目するだけで精一杯だった子ども達でしたが、何度も練習するうちに、自分のパートだけでなく友達のパートも覚えて互いに励まし合う姿も見られました。「みんなで一緒にやっている。」という感覚が楽しいようで、練習に誘い合ったり役割を決め合ったりしながら遊ぶ様子は何とも微笑ましかったです。そんな子ども達は、音楽会最後のプログラムでこの曲に挑戦します。ただ強く叩くだけでは太鼓のカッコよさは伝わらないと、叩き方に強弱をつけたり、フリをつけたりして、お客さんに見てもらう事を意識し、カッコよさにこだわって練習してきました。

音とリズムの重なりと、指揮の先生を見つめる子ども達の熱い視線、また、演奏後の充実したような表情にも注目しながらお楽しみください。

